



ア ド バ ン ス

Advance (前進)

佐世保市立山澄中学校
令和4年6月22日

文責 校長 山口一成

佐世保市中学校体育大会終了！光海中背番号7番の君へ贈る応援エール！

11日(土)から始まった佐世保市中学校体育大会は17日(金)の水泳競技大会を最後に無事に終了しました。今年もコロナの影響で、総合開会式が中止になり、一般応援もできませんでしたが、各競技会場では様々な感動のドラマが展開されました。私はソフトテニスの競技部長として、ソフトテニス部の試合を運営の合間に観戦しておりましたが、男女共に団体の1回戦を懸命に戦い、素晴らしい試合展開で見事に突破することができました。また、初日は小雨降る中、風も強くなり、他校のテントが吹き飛ばされた時、山澄中学校の生徒が一齐に素早く吹き飛ばされたテントの対応をしてくれました。また、試合後の本部へのあいさつでは、元気よくあいさつしてくれたり、「山澄中学校の生徒は素晴らしいですね」と本部にいた他校の先生たちがとてもほめていました。試合で勝つことも大切ですが、それ以上にマナーの良さでほめてもらったのが大変嬉しかったです。

さて、これまで校長として数多くの試合を観戦してきましたが、最終日の男子バスケットボールの試合は、生涯の思い出に残る手に汗を握る白熱した試合でした。勝った方が県大会へ出場する切符を手に入れる緊迫の1戦です。試合は、第3クォーターまで、一進一退の攻防で、残り8分の第4クォーターで、同点に迫につき、このまま延長戦に突入かと思った残り時間2秒で相手チームに2本のフリースローを与えてしまいました。この状況下で1本でも決められたら終了です。選手はもちろん観客の視線が一齐に光海中背番号7番の選手に集まります。まさに息をのむ状況の中、1本目ははずし、いよいよ2本目のシュートが放たれました。リングにあたるも2本目も決まらず、会場はため息と歓声に包まれ延長戦かと思われた瞬間、またしても主審のホイッスルが鳴り響き、残り0.2秒で再度の2本のフリースローが相手に渡り、これまでかという雰囲気の中、保護者席の中から「あきらめんと！まだわからん」とよの声が鳴り響きました。背番号7番の選手が再び県大会出場をかけたフリースローに挑みましたが、惜しくもシュートを決めることが叶いませんでした。計4本のチャンスを逃してしまいました。まさに選手激励会の時に伝えていた市大会の「魔物」を見た思いでした。勝利が見えた瞬間にこの「魔物」が現れます。「魔物」は、自分の心の中に潜むものです。普段の練習であれば4本もはずすことの無い選手だと思いますが、延長戦で敗北し試合後の背番号7番の選手は呆然としていました。試合には負けたかもしれないけど、決して人生で負けたわけではありません。一生忘れられない瞬間であったかもしれないけど、この経験を十字架として背負うのではなく、彼には人生最大の教訓として、これからの人生を力強く歩んでほしいと願います。また、山澄中男子バスケット部員には、彼の思いをしっかりと受けとめ県大会で活躍してほしいと願います。

県大会では、ソフトテニス競技の部長として運営にあたるために、各競技の応援に駆けつけることができませんが、悔いの残らない全力プレーで山澄魂を大いに発揮してくれることを期待しております。



県中大会出場おめでとう！

男子バスケットボール部

空手道男子団体組手

男子個人組手 田嶋 一惺さん

陸上部

女子3年800m 岩本 歩さん

共通男子砲丸投げ 樋口 天翔さん

共通女子砲丸投げ 桐原 乃愛さん

共通女子1500m 岩本 歩さん

3年女子100m 吉田 愛結さん

体操部

男子個人総合 徳永 嵐さん

水泳部

女子200m個人メドレー 近藤 叶望さん

女子400m個人メドレー 近藤 叶望さん

ピンポンブー大会開催

下記掲載機材を用いた「ピンポンブー大会」を昼休みの時間帯に校長室で開催いたします。学力向上の一環として、ゲーム感覚で「日本史」「地理」「世界史」「理科」「漢字」「英単語」など、様々なジャンルのプレゼン問題を用意しております。プレゼン問題で出題し、早押しで答えていく形式です。また、時折「頭の柔軟性や思考力」を鍛える「頭の体操」問題も出題いたします。開催日は7月からの火・水・木曜日とし、正解する度にポイントカードを渡し100ポイント貯まったら、切り絵かハーバリウムをプレゼントします。

受験を控えた3年生や1・2年生も大歓迎です。1・2年生はペアで参加もOKです。多くの挑戦者を心待ちにしております！

